

2023年度 事業報告書

学校法人名 学校法人 国際文化アカデミー

学校法人所在地 東京都豊島区巣鴨3丁目2番12号

2023 年度 学校運営報告

学校法人 国際文化アカデミー

1. 総 括

今年度につきましては、コロナウィルス感染症の5類移行を経て、4年ぶりとなる通常の学校運営となりました。教育活動については減少した学生数に対応した行事・学外活動を実施し、きめ細かな運営に努めました。就職活動につきましては、ツーリズム産業の需要回復のみならず、日本経済の本格的な成長軌道に向け人材不足が顕著となり、良好な採用環境の中、JTBグループ及び業界各社からの求人に対応し、就職内定率は100%を達成しました。他方、学生募集につきましては、学校経営の最重要課題と位置づけ取組みましたが、当初掲げた目標には大きく及ばず、日本人学生については昨年をも下回る結果となりました。これについてはSNSの活用など高校生にダイレクトに訴求する広報活動に尽力したものの、的確に訴求しきれず、学校説明会の運営方にも課題を残しました。コロナ禍を機に高校生の旅行経験喪失（修学旅行の中止）などによるツーリズム産業への理解不足と志望減少、少子化と大学進学優先による進学率の上昇にもその原因があると考えられますが、このことは今後も当校を取り巻く環境として継続するものと捉え、来年度以降は抜本的に学校運営の改革を図り、再生を図りたいと存じます。

併せて、こうした厳しい経営状況の中、第4四半期に㈱JTBから多額の支援を受けることとなり、財務の健全化に向けて資産を増強することができました。これを契機に、時代や環境の変化に対応した新たな専門学校モデルへの再生による経営の安定化に向けて、次年度以降スピード感ある聖域なき抜本的改革を開始します。

具体的には、

- ① 入口戦略（学生募集改革）：募集学生の多世代化（高校卒業生・留学生を募集対象の主軸としつつも大学生・社会人などの新たなターゲットの獲得とそれに対応する新たなコース・カリキュラムを設定する。）
 - ② カリキュラム改革：旅行業務取扱管理者資格重視からこれからのツーリズム産業に必要な知識・スキル・資格の習得を目指し、最先端かつ実践的な学びを具体的に学ぶカリキュラムに再構築し、「資格取得至上主義」から「成長至上主義」への転換を図る。
 - ③ 出口戦略（キャリア支援改革）：広くツーリズム産業での活躍を目指した就職及び転職を支援し、大学編入についても提携先の大学の拡大など進路の多様性を図る。
- という3つの観点での改革を断行し、併せて、それらを実現するための施設やインフラの整備と充実を図ることで、新学校名「JTB ツーリズムビジネスカレッジ」として再挑戦をスタートします。

収支状況に関しましては、学生数の大幅な減少を踏まえ、教育活動収支は294百万円の支出超過の予算編成とし、人件費の着実な削減、研修費、その他経費の低減させる一方で、入学者増員プロモーション等の募集活動強化（宣伝強化）を行ってまいりましたところ、

支援（一般寄附金）をいただいたことで、結果、7億8百万円の収入超過となりました。

次年度の教育活動収支につきましては、引き続き学生数の定員割れによる、大幅な支出超過が見込まれることから、あらゆる管理経費の見直しによる経費削減を図り支出超過の縮減に努めるとともに、改革課題の遂行に必要な支出は確保しつつ、適切な学校経営を目指します。

2. 教務関連

「学生募集」、「カリキュラム・学生指導」、「進路指導」の一気通貫組織として OneJTC による募集・広報活動の強化、ツーリズム産業の発展に資するカリキュラムの実施、適材適所の人材輩出を具体的取組事項として実施いたしました。

(1) 学生募集関連

コロナ禍を機に、高校生とツーリズム産業との接点の減少、少子化、大学進学率の急伸による本格的な大学全入時代の到来など、外部環境の厳しさが続く中、受験生・保護者の関心度を高める学生募集活動を学校最優先事項として行ってまいりましたが、結果は予想以上に困難を極めました。

① 学生募集状況

2024年度の入学者は【表1】のとおり41名（前年比146.4%）と増加しました。うち日本人学生は21名（同87.5%）、留学生は20名（同500%）となりました。卒業生（日本人、留学生）や、当校受験の留学生からの紹介による出願もありました。なお期中において、今後の募集推移を鑑み「夜間部」の募集を停止いたしました。

【表1】入学者数の推移

入学年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
観光科 (うちGIコース)	21 (4)	21 (2)	20 (3)	82 (11)	139 (29)	163 -	148 -
(うち留学生)	(4)	(3)	(1)	(3)	(1)	(6)	(11)
ホテル科 (うち留学生)	4 (0)	4 (1)	11 (3)	4 (1)	27 (5)	25 (3)	23 (6)
訪日科 (うち留学生)	16 (16)	0 (0)	6 (6)	12 (12)	43 (43)	47 (47)	45 (45)
夜間部 (うち留学生)	0 (0)	3 (0)	7 (0)	0 (0)	15 (0)	20 (0)	20 (0)
合計 (うち留学生)	41 (20)	28 (4)	44 (10)	98 (16)	224 (49)	255 (56)	236 (62)
前年比	146.4%	63.6%	44.9%	43.8%	87.8%	108.1%	91.1%

日本人学生	21	24	34	82	175	199	174
前年比	87.5%	70.6%	41.5%	46.9%	87.9%	114.4%	88.8%

② 募集活動について

入口戦略強化に向け以下のとおり新規取組を実施しました。

- 1) 校内説明会者誘引を主要 KPI とする「入学者増員プロモーション」【表 2】
- 2) 講師連携による3つの横断プロジェクトの発足
「広報戦略 (SNS・HP)」「営業強化」「学校説明会」

1) 入学者増員プロモーション【表 2】

プロモーション	目標KPI、成果と反省
1. ツーリズム産業の仕事紹介動画 目的：旅行の仕事イメージ拡大、魅力発信	HP動画再生数：達成率176.6%。SNSでも動画は学生の反応がよいため、次年度以降も仕事の幅広さ、魅力が発信できる動画制作を検討していく。
2. 活躍している卒業生動画・原稿掲載 目的：卒業後の先輩のステップアップ、活躍領域発信	「エンタメ」「空港業務」2動画作成。リクルート資料請求数：達成率73.4%。7月以降目標を下回った。リクルートは資料請求数最大の媒体であるため、月ごとの同行を検証の上掲載継続していく。
3. 高校教員のための進路情報誌への掲載 目的：ツーリズム業界の不安払拭（正しい情報の発信）	学校説明会アンケート「先生からの紹介」「進学情報誌を見て」：達成率48%。高校教員宛てメール記事配信開封率28.2%（平均25～35%）。説明会参加動機の約2割が先生・進路情報誌であるため、次年度は掲載媒体含め再検討が必要。
4. WEB外部委託による運用 目的：魅力あるWEB媒体への進化	SNS (Insta・X・LINE) からのHP流入数：達成率1,044%。サイト流入からの説明会エントリー増のロジックが達成しておらず、キーワード再設定などは次年度の課題。
5. WEB広告 (Instagram・Google) 目的：認知向上	各種広告クリック率①Instagram広告 (16～22才対象) 達成率33%②Google広告「競合校」：達成率117%③Google広告「説明会」：達成率135%④Google広告「学費等」：平均達成率84.1%。広告掲載媒体の再検討ならびにSEO対策が課題。

2) 横断プロジェクト

- ・「広報戦略 (SNS,HP) プロジェクト」(学校説明会参加促進)

在校生の SNS 担当者を選定し、学生撮影による写真の掲載、ソーシャルメディアスキル向上のための「アナリティクス講習会」を実施し、高校生に影響力の高い SNS のうち主流となる Instagram を強化しました。連動して外部コンサルタントとの連携により、学校 SNS アカウント画面の刷新、ホームページへの導線強化、改善を逐次行いました。

- ・「営業プロジェクト」(学校説明会参加促進)

主要ターゲットである高校生には、各高校が実施する進路ガイダンスへの当校講師派遣による魅力度向上、JTB 東北・中部エリア教育旅行担当者会研修への参加による学校営業連携を図りました。また留学生については、日本語学校教員向けメルマガ発信 (約 70 校)、それに連動した当校教職員全体での日本語学校セールスを実施し、その結果新たな実績校の開拓へ繋がりました。(留学生出願者出身校 15 校中、新規 5 校)。海外へのダイレクトな訴求として FunJapanCommunications と連携した学校紹介記事の配信 (ベトナム・インドネシア)、Facebook の学校アカウント (英語版) も開始しました。

・「学校説明会プロジェクト」（出願促進） 【表 3】

早期囲い込みを目的とした「体験入学」の早期設定、在校生による進行、担任講師による保護者向け相談会の刷新など、親しみやすさ、業界の楽しさを体感できる説明会運営に徹しました。

留学生は従来の「個別相談会」に加え、「学校説明会」も開催しました。先輩留学生（在校生・卒業生）を交えた座談会も組み入れることで安心感、学校の魅力度向上につながりました。（留学生説明会参加者 22 名中 9 名出願。出願率 40.9%）。

【表3】 広報・説明会等の実施状況

対象	内 容	2023年度		2022年度		2021年度 実績	
		実績	前年比	実績	前年比		
広報	資料請求	5,819件	97.5%	5,969件	81.9%	7,288件	
	HP総ユーザ数 (うち、スマートフォン)	76,571人 34,107人	130.8% (100.0%)	58,519人 34,107人	92.0% (104.2%)	63,629人 32,718人	
説明会 (日本人 ・生徒)	学 内 開 催	延人数	(94人)	(61.0%)	(154人)	(106.2%)	(145人)
		* 実人数	74人	92.5%	80人	87.0%	92人
		うち、出願数	26人	92.9%	28人	75.7%	37人
		出願率	35.1%	+ 0.1%	35.0%	▲ 5.2%	40.2%
	イ ン タ ー ナ ー シ ョ ン ガ 	実施回数	125回	109.6%	114回	118.8%	96回
	参加者	799人	126.8%	630人	100.6%	626人	
留学生	説明会・個人相談	75人	202.7%	37人	205.6%	18人	

※ 前年度3月～当年度3月の実績比較、* 実人数は、該当年度受験対象者のみ

③募集の課題と今後の活動展開について

- 1) 分析データを活用した効率的・効果的な学校営業の実施
- 2) マーケティングに基づいた魅力ある学校 SNS・WEB 広報の強化
- 3) 幅広いツーリズムの仕事が体感できる学校説明会の実施

(2) カリキュラム・学生指導関連

新型コロナウイルス感染症 5 類移行に伴い、ツーリズム関連事業者や地域との交流が復活し、フィールドワーク、産学連携・地域イベント、国内海外研修などを通しての体験機会や知見拡充に繋がりました。また科を跨いだ横断的な取り組みにより、コミュニケーションの向上や学びの相乗効果を図ることができました。重点課題として、以下の 2 点を取り組みました。

◆ICT 教育の深耕による効果的な学習指導の確立

- ・「国家資格 IT パスポート対策」は 2 年目を迎え内容の拡充と合わせ、授業レポートを全て cloud 上での提出とし、IT リテラシーの機会増を図りました。（他「観光マーケティング」「ツーリズム基礎」「ツーリズムマネジメント」等でも実施）
- ・シンガポールおよび沖縄の研修旅行後、成果発表会を実施しました。現地とのハイブリッド開催により JTB グループならびに関連団体からの講評、また事前研究、事

後成果物もデジタルツールを活用するなどスキルの最大化を図りました。

次年度はデジタル系授業を体系的に見直し、新規導入ならびに科目名変更による質的向上を目指してまいります。

- ◆ ツーリズム産業の発展に資する新たな知識と人間力向上のためのカリキュラム展開
 - ・ 「データマーケティング講座」にて巣鴨信用金庫、地蔵通り商店街協力のもと「巣鴨地蔵通り商店街活性化」をテーマとした研究を実施いたしました。また（一社）ビックデータマーケティング教育推進協会主催の成果発表会に、昨年度に引き続き参加し、他校の取組を知る機会にも繋がりました。
 - ・ JTБとの産学連携による取組として「SAMURAI WEEK（甲府）」「千葉大多喜町ワークショップ」「JTБ地球いきいきプロジェクト（千葉南房総市）」に参加しました。自治体、支店担当者、旅行者など多くの交流を通して知見拡大、感性を醸成する場となりました。学校からの情報提供に対し、学生自らが参加表明をするなど自発性の醸成を育むきっかけとなりました。
 - ・ 2年生を対象に「SDGs×観光まちづくりワークショップ」（観光科・HB科・訪日科）を実施し、2年間の学びの集大成として、社会におけるツーリズムの貢献度や親和性を考察する時間となりました。次年度以降もSDGsのカリキュラム増を検討してまいります。

具体的な年間動向および成果については以下のとおりです。

① 学生動向について

今年度は新1年生29名（昨年44名）を迎え、学生総数64名（昨年134名）でスタートしました。期中における退学者は4名で、留年の出入りを含め、次年度の新2年生は26名となりました。

学生の在籍者推移は【表4】、また学科別の在籍者推移は【表5】のとおりです。退学の理由としては本人の進路変更などが多く、生活環境の大きな変化による心身ケアも今後の課題として取り組み強化してまいります。

【表4】 学生在籍者推移

[単位:人]

	2023年度			2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
	1年生	2年生					
期首在籍数 (復学者)	64 (0)	29 (0)	35 (0)	134 (1)	304 (8)	449 (10)	466 (12)
退学者	4	4	0	11	7	33	36
期中休学	0	0	0	0	1	4	2
期中復学	0	0	0	0	1	1	0
期末在籍数	60	25	35	123	297	413	428
退学率	6.3%	13.8%	0.0%	8.2%	2.3%	7.3%	7.7%

【表5】学科別・学生在籍者数推移【期首】

	2023年度			2022年度			2021年度		
	1年生	2年生	期首在籍数	1年生	2年生	期首在籍数	1年生	2年生	期首在籍数
国際観光ビジネス科	40	21	19	95	20	75	211	82	129
訪日科	5	0	5	17	6	11	49	12	37
国際ホテル&ブライダル科	12	5	7	15	11	4	31	4	27
夜間部	7	3	4	7	7	0	13	0	13
期首在籍数	64	29	35	134	44	90	304	98	206

② 国家資格およびその他各種資格の取得について【表6】【表7】【表8】

国内旅行業務取扱管理者試験合格者数（以下、国内）17名、うち1年生の全科目合格者は14名となりました。合格率は70%（全国平均35.7% +34.3ポイント）で、目標の70%を到達しました。総合旅行業務取扱管理者試験合格者数（以下、総合）10名のうち1年生の合格者は4名、合格率20%（全国平均7.9% +12.1ポイント）となり、目標の40%は達成できませんでした。出題傾向と学生の弱点、資質を見極めながら、次年度は高い合格率の維持と合格率目標の達成を目指してまいります。

その他各種検定試験の合格状況は【表8】のとおりです。4年目受験を迎えた国家資格「ホテルマネジメント技能検定」3級につきましては、受験者7名に対し合格者1名、合格率14.2%と目標50%は達成できませんでした。記載以外では、「おもてなし検定」3級1名、日本添乗サービス協会主催「インバウンド検定」に3名（全員留学生）、TOEICでは累計34名受験中、650点以上が1名でした（920点）。

【表6】総合旅行業務取扱管理者資格合格者推移

区分		2023年度				2022年度				2021年度			
		合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前年増減	合格率	受験者
全科目	観光科1年	4	▲5	20.0%	20	9	▲9	47.4%	19	18	▲30	22.8%	79
	全国結果	167	▲111	7.9%	2,102	278	103	13.5%	2,064	175	▲581	6.2%	2,819
他	他1年生	1	▲1	50.0%	2	2	2	40.0%	5	0	▲3	0.0%	1
	2年生他	5	▲5	50.0%	10	10	▲1	30.3%	33	11	▲33	26.2%	42
JTC計 (ウ留学生)		10 (1)	▲11 (+1)	31.3%	32	21 (0)	▲8 (+0)	36.8%	57	29 (0)	▲85 (▲2)	23.8%	122

【表7】国内旅行業務取扱管理者資格合格者推移

区分		2023年度				2022年度				2021年度			
		合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前年増減	合格率	受験者	合格者	前年増減	合格率	受験者
全科目	観光科1年	14	2	70.0%	20	12	▲39	66.7%	18	51	▲14	63.0%	81
	全国結果	3,016	274	35.7%	8,458	2,742	▲1,313	32.9%	8,343	4,055	▲36	40.9%	9,910
他	他1年生	1	▲2	33.3%	3	3	2	60.0%	5	1	▲6	20.0%	5
	2年生	2	▲3	50.0%	4	5	0	29.4%	17	5	▲2	10.6%	47
JTC計 (ウ留学生)		17 (4)	▲3 (▲1)	63.0%	27	20 (5)	▲37 (+0)	50.0%	40	57 (5)	▲22 (+1)	42.9%	133

【表8】各種検定試験 合格者推移

[単位:人]

資 格	2023	増減	2022	増減	2021	増減
	年度		年度		年度	
旅行地理検定日本上級	0	▲ 1	1	0	1	1
旅行地理検定日本中級	4	2	2	▲ 21	23	3
旅行地理検定世界上級	0	▲ 1	1	▲ 1	2	1
旅行地理検定世界中級	3	2	1	▲ 4	5	1
ビジネス能力検定2級	10	▲ 1	11	11	0	0
ビジネス能力検定3級	3	▲ 10	13	8	5	▲ 24
パソコン検定2級	12	0	12	▲ 15	27	13
パソコン検定1級	0	▲ 2	2	0	2	1
世界遺産検定2級	2	▲ 4	6	▲ 6	12	▲ 6
実用英語技能検定2級	0	▲ 2	2	▲ 5	7	2
秘書検定2級	1	▲ 3	4	▲ 5	9	▲ 3
秘書検定準1級	1	0	1	1	0	0
ホテルマネジメント技能検定3級※	1	1	0	▲ 8	8	1
レストランサービス技能検定3級※	3	0	3	▲ 13	16	0
ブライダルコーディネーター技能検定	4	1	3	▲ 13	16	8
旅のユニバーサルデザインアドバイザー	18	0	18	▲ 53	71	▲ 45

※国家資格

③ 実習・研修プログラムの実施状況について【表9】

校内での講義以外に、基礎的な旅行・観光関連実務の体得を目的とした学外実習や研修を、学科別にカリキュラムに織り込み、効果的な専門能力の養成に努めてまいりました。国際観光ビジネス科2年の企業実習は業界バリューチェーンを意識した1人2箇所派遣を全員に設定しました。また4年振りに海外研修、海外支店実習を再開し、海外渡航未経験の学生をはじめ多くの学生が、直接異文化に触れ、新たな視野拡大となる機会に繋がりました。

【表9】学科別 実習・研修実施状況

学科	対象	種別	内 容	実施時期	備 考
国際観光ビジネス科	1年	必修	① 校外学習	11月	羽田空港見学(HB科、夜間部合同)
	1年	必修	② 国内研修旅行	11月	沖縄2泊3日
	1年	選抜	③ 海外支店実習	2~3月	台北・クアラルンプールにて実施(3名選抜)
	2年	必修	④ 国内支店実習	7~8月	店舗+JTBG、内定先ホテルにて実施(1か月)
	2年	必修	⑤ 海外研修旅行	12月	シンガポール3泊5日
訪日科	2年	選択	① 校外学習	7月	巣鴨地蔵通り商店街盆踊り
	2年	選択	② 校外学習	11月	甲府1泊2日(SAMURAI WEEK)
国際ホテル科 & 夜間部	1年	必修	① 国内宿泊見学	7月	横浜1泊2日研修
				2月	湯河原・強羅1泊2日
	1年	必修	② 国内宿泊実習	夏期	首都圏近郊5施設にて実施
				冬期	3施設にて実施(湯河原・伊豆・東京)
2年	必修	③ 海外研修旅行	11月	台北2泊3日	
夜間部	1年	必修	デュアル実習	年間	JTB、JTBビジネストラベルソリューションズ、JTBビジネストラנסフォーム
	2年	必修	デュアル実習	年間	JTB、JTBビジネストラנסフォーム

④特別講師による授業の実施状況について【表10】【表11】

職業意識の醸成を目的として1年生を対象とした「クローズアップ（業界・企業）」、変化するツーリズム産業における業界動向の理解を目的として2年生を対象とした「クローズアップ（ネクストステージ）」、現場の最前線で活躍しているプロフェッショナルな方々から、経験談を踏まえてホスピタリティの本質を語っていただく「ホスピタリティ講座」は今年度も多くの企業、関係者に多大なる協力を仰ぎ、受講者が具体的な行動に移せるような機会の創出となりました。

【表10】クローズアップ講師派遣協力機関

科目名	講師派遣協力機関
クローズアップ (業界・企業)	<ul style="list-style-type: none"> ・JTB ・JTBグローバルマーケティング & トラベル ・JTBビジネストラנסフォーム ・JTBビジネストラベルソリューションズ ・JTB商事 ・JTBトラベルプラザインターナショナル ・JCBトラベル ・はとバス ・小田急リゾーツ ・にしけい ・西武・プリンスホテルズワールドワイド ・日の丸グループ ・叙々苑 ・埼玉高速鉄道
クローズアップ (ネクストステージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・JTB <ul style="list-style-type: none"> ツーリズム事業本部 エリアソリューション事業部 ビジネスソリューション事業本部 グローバル統括本部 (ALL JTB AWARD表彰個所 7個所含む)

【表11】ホスピタリティ講座講師派遣協力機関

科目名	講師派遣協力機関														
ホスピタリティ 講座	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">JTB代表取締役社長</td> <td style="width: 50%; border: none;">グランドニッコー東京台場</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">JTBお客様相談室</td> <td style="border: none;">ホテル一井</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">JTBデータサービス</td> <td style="border: none;">インバウンドにつぼん</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">JTBWeb販売事業部</td> <td style="border: none;">ベルトラ</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">CXコンサルティング</td> <td style="border: none;">日本エコツーリズム協会</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">流通科学大学</td> <td style="border: none;">フェイスアップ</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">ホスピタリティ機構</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	JTB代表取締役社長	グランドニッコー東京台場	JTBお客様相談室	ホテル一井	JTBデータサービス	インバウンドにつぼん	JTBWeb販売事業部	ベルトラ	CXコンサルティング	日本エコツーリズム協会	流通科学大学	フェイスアップ	ホスピタリティ機構	
JTB代表取締役社長	グランドニッコー東京台場														
JTBお客様相談室	ホテル一井														
JTBデータサービス	インバウンドにつぼん														
JTBWeb販売事業部	ベルトラ														
CXコンサルティング	日本エコツーリズム協会														
流通科学大学	フェイスアップ														
ホスピタリティ機構															

(3) 進路指導関連

2024年3月卒業予定者のうち、日本人学生の就職希望者25名、留学生就職希望者9名、計34名が全員採用内定となり、就職内定率100%（日本人学生は3年連続）を達成しました。

今年度は、市場の回復による人材不足が更に顕在化し、各企業の採用スケジュールは昨年度以上に早いスタートとなりました。対象学生には、幅広いツーリズム産業界研究や自己分析をしっかりと行うことを徹底し、自分に最も合致した企業への内定を目標に掲げ、学外説明会・インターンシップへの積極的参加、就職関連サイト・ハローワークの有効活用など学生個々の幅広い進路選択に向けたガイダンスの強化をしてまいりました。企業の選考方法もオンライン面接が一般化され、選考動向に合致した実践的な面接指導も繰り返し行ってまいりました。

また、他流試合として駿台トラベル&ホテル専門学校と合同のグループディスカッションおよび合同面接練習を実施しました。他者意見への傾聴力、自身の考えを表現する力を培う機会となりました。

日本人学生、留学生を併せた 34 名の就職内定先は、P12【表 13】の通りです。

旅行関連会社への内定者 14 名（全体構成比 41.1%、前年実績比+10.3%）、運輸・空港サービス・警備関係は 7 名（全体構成比 20.6%、実績比▲12.7%）、宿泊・料飲関係は断続的な求人により、12 名（全体構成比 35.3%、実績比+3.2）となりました。

なお 42 期生（現 1 年生）対象の校内企業説明会を 12 月より開始しております。ご協力をいただいた企業は、【表 12】のとおりです。

【表12】校内企業説明会実施状況(2024年3月分まで)

JTB	東京地下鉄
JCBトラベル	京王プラザホテル
JTBビジネストラベルソリューションズ	小田急リゾート
JTBトランスフォーム	ロイヤルパークホテルズアンドリゾート
JTBグローバルアシスタンス	オリックス・ホテルマネジメント
JTB商事	セルリアンタワー東急ホテル
JTBガイアレック	ミリアルリゾートホテルズ
I&Jデジタルイノベーション	ホテルモントレ
東海旅客鉄道株式会社	ホテルニューオータニ
羽田空港サービスグループ	ホテルオークラ東京
JALグランドサービス	ヒルトン東京
JALナビア	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
パークハイアット東京	帝国ホテル
横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ	住友不動産ヴィラフォンテーヌ
ザ・テラスホテルズ	
JTB協定旅館ホテル連盟合同説明会(11施設)	
①ホテル一井②ホテル櫻井③ホテルヴィレッジ	
④ホテルサンバード⑤ホテルおかだ⑥富士屋ホテル⑦おんやど恵	
⑧喜久多⑨ホテルかずさや⑩KPG⑪はいむるぶし	

【表13】2023年度卒業生(第41期生) 就職活動状況及び内定先一覧

【2024/3/31現在】

	総数	就職希望者数	内定者数	未内定者	内定率	前年就職者数	*印は 留学生採用企業 ★印は 新規採用企業
日本人学生	26人	25人	25人	0人	100.0%	67人	
留学生	9人	9人	9人	0人	100.0%	11人	
計	35人	34人	34人	0人	100.0%	78人	

●JTBグループ企業 構成比 38.2% ← 29.5%

企業名	人数	増減	40期
1 JTB	3	▲5	8
2 JTBビジネスストラテジックフォーム	3	+1	2
3 * J&Jヒューマンソリューションズ	2	▲1	3
4 I&Jデジタルイノベーション	2	+1	1
5 JTBグローバルアシスタンス	1	▲1	2
6 JTビジネスストラテジックソリューションズ	1	▲2	3
7 JTバイアレック	1	+1	0
8 その他	0	▲4	4
計	13	▲10	23

●宿泊・料飲関係 構成比 35.3% ← 32.1%

施設名(企業名)	人数	増減	40期
1 ホテルオークラ東京	2	±0	2
2 * シャングリ・ラ東京	2	+2	0
3 日本ホテル	2	+1	1
4 * パークハイアット東京	1	+1	0
5 住友不動産ヴィラフォンテーヌ	1	±0	1
6 * 新宿東急ホテルズ	1	▲2	3
7 * 富士屋ホテル	1	±0	1
8 ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ	1	+1	0
9 * Koi Hotel ★	1	+1	0
10 その他	0	▲17	17
計	12	▲13	25

●その他旅行会社 構成比 2.9% ← 1.3%

企業名	人数	増減	40期
1 * KIZUNA	1	+1	0
2 その他	0	▲1	1
計	1	±0	1

●その他 構成比 2.9% ← 1.3%

企業名	人数	増減	40期
1 進興メディカルサポート ★	1	+1	0
2 オーケー	0	▲1	1
一般企業就職者計	1	±0	1

●運輸関係 構成比 8.8% ← 12.8%

企業名	人数	増減	40期
1 東京地下鉄	1	±0	1
2 JR東日本サービスクリエーション ★	1	+1	0
3 日の丸自動車興業	1	±0	1
4 その他	0	▲8	8
計	3	▲7	10

第41期生 就職内定者計	34名
--------------	-----

●空港サービス、警備関係 構成比 11.8% ← 20.5%

企業名	人数	増減	40期
1 JALグランドサービス	2	▲3	5
2 ANA成田エアポートサービス	1	+1	0
3 にしけい	1	▲1	2
4 その他	0	▲9	9
計	4	▲12	16

3. 総務・財務関連

(1) 収支バランスの維持と経営基盤の安定化

事業活動収入については 2021 年度から続いている入学者減少が継続しており学生納付金が 79 百万円となりましたが、(株)JTB よりの支援を一般寄附金と受配者指定寄附金にて受け、このうち一般寄附金を寄附金計上したことにより、10 億 91 百万円となりました。事業活動支出では、各セクションで収支管理を実施しながら、2024 年度入学者の確保に向け広報戦略を強化しました。設備投資においては、校内の空調交換、Wi-Fi の交換工事を実施し、4 月からの校名変更に合わせてサイン類の交換工事を行いました。この結果、事業活動収支差額については 7 億 8 百万円の収入超過となりました。

基本金につきましては、特に空調設備の取得が年数を経ていることもあり、取得額に差額が生じており、15 億 23 百万円となりました。

なお、過去 5 年間を含めた事業活動収支状況、及び基本金の推移は【表 14】のとおりです。

【表14】事業活動収支状況、及び基本金の推移 [単位：千円]

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
事業活動収入	1,091,556	177,203	399,982	562,679	551,865	532,387
事業活動支出	383,557	416,894	495,880	564,379	550,837	520,256
事業活動収支差額	708,000	▲ 239,691	▲ 95,897	▲ 1,700	1,027	12,131
翌年度繰越収支差額	631,493	▲ 47,367	198,906	295,805	298,784	303,593
前年良否	+ 678,860	▲ 246,273	▲ 96,899	▲ 2,979	▲ 4,809	▲ 232,429
前年対比	▲→+	+→▲	67.2%	99.0%	98.4%	56.6%
基本金	1,523,477	1,494,337	1,487,756	1,486,753	1,485,475	1,479,638
前年度増減	29,140	6,581	1,002	1,278	5,837	244,560
前年度末対比	102.0%	100.4%	100.1%	100.1%	100.4%	119.8%

(2) 設備投資状況

前項で触れたとおり校内の老朽化している設備のうち空調機器交換、教育用 Wi-Fi 設備の更新を実施したほか、資本的支出ではありませんが、学校業務用ファイルサーバーのクラウド化、階段・通路のカーペット貼替を実施しております。

2024 年度以降についても、老朽化している教育設備の改修とより質の高い最先端の教育環境の整備に向け、教室内設備およびインフラの改善を予定しております。

(3) 学校経営の中長期的安定化を見据えた経営課題への対応

ツーリズム産業への志望者拡大に向け、優先度の高い募集広報活動に対して積極的な投資を行い、月次での進捗状況を役員と共有をしてまいりました。経営の安定化と新しい学校の在り方に向けた検討を重ねた結果、必要な支援を受け新たにカレッジの再生を図ることとなりました。

なお、当期の事業計画で取り組んだ課題の進捗は以下の通りです。

① 柔軟な組織体制への変革

学生数減少に合わせ、教職員業務のマルチ化を図り少人数での対応を実施しました。教員の同行セールスによる募集活動、進路指導と講師の兼任など、柔軟な業務執行を進めました。総務部門においては、縦割り業務の解消と明確化、オープン化を進めました。

② 学習・就業環境の整備とデジタルイゼーション

教育の品質向上、学校運営業務の生産性向上を目指し、従来の業務フローの見直しを実行しました。

具体的には、Google が提供するアプリケーション (Form、Drive) の授業や業務での活用、「在校生サポートシステム (Canbus)」を用いた進路指導業務の統合、InfoClipper クラウドでの学生情報共有など、ICT 活用を推進しました。

次年度以降も従前踏襲のフローの見直し、棚卸を進め、教務や後方業務のデジタルトランスフォーメーションを実施してまいります。

3. その他

(1) 要員体制について

	常勤教職員・役員						計	専門講師 (非常勤)	合計
	校長 (理事)	理事	教務職員	事務職員	派遣職員				
2023年度期首	1名	1名	12名	9名	0名	23名	32名	55名	
2023年度期末	1名	1名	12名	9名	1名	24名	32名	56名	

※ その他、理事長1名(非常勤)、学校医1名(非常勤)、保健師1名(非常勤)

(2) 評議員会・理事会の開催状況について

【評議員会】

回	開催日		議案、議事内容
第1回	2023/5/24	諮問事項	1. 2022年度 事業報告及び決算に関する件
		決議事項	2. 議事録署名人の選任に関する件
		報告事項	3. 2023年度学生募集に関する件
第2回	2023/10/12	決議事項	1. 評議員の補欠選任に関する件
			2. 理事の補欠選任に関する件
			3. 議事録署名人の選任に関する件
第3回	2024/3/27	報告事項	1. 2023年度 学校運営概況に関する件
			2. 2023年度 予算改定に関する件
		諮問事項	3. 中期経営計画に関する件
			4. 2024年度 学校運営計画及び予算案に関する件
		決議事項	5. 理事の補欠選任に関する件
			6. 議事録署名人の選任に関する件

【理事会】

回	開催日		議案、議事内容
第1回	2023/4/3	決議事項	1. 理事長選任に関する件 2. 常務理事の選任に関する件 3. 理事長に事故あるとき、または理事長が欠けた時における職務代行順位の件 4. 議事録署名人の選任に関する件
第2回	2023/5/24	決議事項	1. 2022年度 事業報告及び決算に関する件 2. 特定資産の取崩しに関する件 3. 評議員の補欠選任に関する件 4. 議事録署名人の選任に関する件
		報告事項	1. 2023年度学生募集に関する件
第3回	2023/7/20	決議事項	1. 評議員の補欠選任に関する件 2. 議事録署名人の選任に関する件
第4回	2023/10/5	決議事項	1. 評議員の推薦に関する件 2. 退任理事に対する退任慰労金贈呈に関する件 3. 議事録署名人の選任に関する件
第5回	2023/10/18	決議事項	1. 常務理事の選任に関する件 2. 理事長に事故あるとき、または理事長が欠けた時における職務代行順位の件 3. 議事録署名人の選任に関する件
第6回	2023/11/22	報告事項	1. 2023年度 上期学校運営概況に関する件
		決議事項	2. 学則の一部変更に関する件 3. 特定資産の取崩しに関する件 4. 内部統制システム構築の基本方針について 5. 議事録署名人の選任に関する件
第7回	2024/2/5	決議事項	1. 2025年度以降のカレッジ再生に向けた今後の取組みに関する件 2. 議事録署名人の選任に関する件
第8回	2024/3/19	決議事項	1. 理事の補欠選任に関する件 2. 評議員の補欠選任に関する件 3. 議事録署名人の選任に関する件
第8回	2024/3/27	報告事項	1. 2023年度 学校運営概況に関する件
		決議事項	2. 2023年度 予算改定に関する件 3. 中期経営計画に関する件 4. 2024年度 学校運営計画及び予算案に関する件 5. 議事録署名人の選任に関する件

なお、2024年度につきましては、

理事会 … 5月22日（水）、11月26日（火）、2025年3月26日（水）

評議員会… 5月22日（水）、2025年3月26日（水）

に開催を予定しております。